



# ぎのわん地域づくり塾

令和元年度  
- 第4期 -

主催：宜野湾市／宜野湾市教育委員会／宜野湾市社会福祉協議会  
共催：沖縄国際大学／琉球大学 運営：NPO 法人まちなか研究所わくわく

## 第2回 地域づくり実践の現場から学ぶ～嘉数区の地域課題と実践を知る～

日時：2019年8月3日（土）9:30-15:30

参加者：24名

講師：嘉数区自治会長 伊波 稔 氏

ゲスト：学校地域コーディネーター 新垣 真弓 氏

場所：嘉数小学校地域連携室（すなわいルーム）



第2回講座は、部屋の四隅を使い、塾生同士で自己紹介を行いました。次に、モデル地域である嘉数自治会区域の状況、自治会活動、地域課題について、自治会長の伊波稔氏にお話し頂き、学校地域コーディネーターの新垣真弓氏からは、活動報告や嘉数の子どもたちの様子が紹介されました。そして、チームごとに、今後取り組むテーマを決定しました。

### 嘉数区の概要、歴史、自治会活動

伊波会長

- 嘉数区の人口は3,662人（1605世帯）
- 自治会加入率26% 高齢化率20%
- 風水を用いて作られた町で狭い道が多い。
- 築年数の浅いアパートがある。
- 唯一公共交通が通っていない。
- 那覇市や北谷町のベットタウン。
- 人口が増えて、畑は住宅地になっている。
- 嘉数自治会で活動している団体は、ていがねー会（ボランティア）、ゆうゆうの会（ミニデイ）、子ども育成会、青年会、老人会などがある。

〈嘉数自治会の困りごと〉

### ○嘉数高台公園の活用

1000本の桜の植栽を行っている。将来桜の名所になる。どう観光客を呼び込めるか。

### ○持続可能な平和学習

現在3名の平和の語り部がいるが、高齢化している。語り部を育成していく。

### ○高齢者の見守り

公民館は傾斜が強いところにある。車がない、歩けない方、の見守りをどうするか。移動をどうにかできないか。

次回（第3回）の講座は・・・

内容：フィールドワーク ～まちあるき～

日時：8月17日（土） 9:30～15:30

場所：嘉数小学校地域連携室

講師：講師 宮道喜一氏

（まちなか研究所わくわく事務局長）

※台風の際はホームページをご確認ください

ぎのわん地域づくり塾の様子をお伝えします

# NEWS LETTER Vol. 2



## ぎのわん地域づくり塾

令和元年度  
- 第4期 -

主催：宜野湾市／宜野湾市教育委員会／宜野湾市社会福祉協議会  
共催：沖縄国際大学／琉球大学 運営：NPO 法人まちなか研究所わくわく



学校地域コーディネーターの活動から見えてくる子どもの課題 **新垣真弓氏**

○地域学校協働活動推進事業に基づいて、コーディネーターとして活動している。

○嘉数小学校 859人

○小学生の特徴として、物おじしない、素直で元気な子どもが多い。挨拶が上手。

○子どもたちが安心して過ごす居場所が必要。

○嘉数小学校区に児童センターがない。

○共働き家庭が多い、放課後一人で過ごす子どもが多い。

チームで取り組む課題を選ぶ

伊波会長と新垣さんから挙げられた課題の中から各チームで取り組むものを選びました。

その後、選択した地域課題の「困りごと」「原因や背景」「これから調べること」を付箋紙に書き出し、話し合いました。

各チームの選択した地域課題

【A】 嘉数高台公園の活用

【B】 子どもたちの居場所

【D】 嘉数高台公園の活用

【E】 子どもの居場所／嘉数高台公園の活用

【F】 嘉数高台公園の活用



参加者の声

○嘉数という地域の成り立ちを知ること、より実効性のある提案ができる気がした

○嘉数区の課題や活動を支える連携団体を知ることができた

○「困りごと」「原因や背景」「これから調べること」を考えることで具体的に考えることができた